



平成27年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月9日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL http://www.watts-jp.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第1四半期の連結業績（平成26年9月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	10,931	1.9	383	△11.2	401	△9.2	307	17.7
26年8月期第1四半期	10,724	5.2	431	△20.9	441	△19.5	261	△22.3

(注) 包括利益 27年8月期第1四半期 346百万円 (31.6%) 26年8月期第1四半期 263百万円 (△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第1四半期	22.70	—
26年8月期第1四半期	19.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第1四半期	19,582	8,536	43.6
26年8月期	18,977	8,420	44.4

(参考) 自己資本 27年8月期第1四半期 8,536百万円 26年8月期 8,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年8月期	—	—	—	—	—
27年8月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成26年8月期の期末配当金には、東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当2円を含んでおります。

3. 平成27年8月期の連結業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	22,400	4.0	880	△2.9	880	△2.8	500	4.0	36.91
通期	45,300	4.0	1,790	0.3	1,800	0.0	1,040	9.7	76.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期1Q	13,958,800株	26年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	27年8月期1Q	410,825株	26年8月期	410,825株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期1Q	13,547,975株	26年8月期1Q	13,548,006株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月の消費税率引き上げ後の国内消費低迷が回復しないまま推移いたしました。加えて7-9月期の実質GDPが、2次速報で年率マイナス1.9%に下方修正されたこととも相俟って、平成27年10月に予定されていた消費税率の10%への引き上げが1年半延期されました。また、米国での金融緩和策の終了と日銀による追加金融緩和策の発表により更なる株高と円安が進行し、円安の負の影響が顕在化いたしました。一方、原油価格が7月以降大幅に値下がりしているものの、円安のマイナス面を吸収するまでには至りませんでした。海外においては、米国経済の堅調ぶりが鮮明になる一方、欧州と中国では減速傾向が持続いたしました。また、ASEAN諸国の景気は国別でまだら模様となりました。加えて旧東欧、中東、アジア等における地政学上のリスクに、不安定要因が内包される結果となりました。

小売業界におきましては、個人消費は円安による小売価格の値上げが相次いだことや、実質所得の減少により家計の購買力が増加せず、持ち直しは限定的で力強さが感じられない状況でありました。

このような環境のもと、100円ショップ「ミーツ」「シルク」等を展開する当社グループは、実生活雑貨を中心にお買い得感のある商品群をプライベートブランド「ワッツセレクト」として開発・販売し、店舗におきましてはローコストでの出退店とローコスト・オペレーションを継続することで、お客様満足度の向上と店舗収益確保を両立させる努力を続けております。加えて、新たなブランド価値を創造すべく、店舗パッケージや商品構成、POSシステムの導入等のハード面、並びに店舗運営、従業員教育等のソフト面の双方を全面的に見直す、ビジネスモデルの再構築に向けた検討を進めております。

当社の基幹事業である国内100円ショップ事業におきましては、比較的売上規模の小さな店舗が多かったものの、通期計画の90店舗に対して51店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が16店舗あり、当第1四半期連結累計期間末店舗数は直営が943店舗（35店舗純増）、FCその他が51店舗（増減なし）の計994店舗となりました。

その他の店舗の当第1四半期連結累計期間末店舗数につきましては、ナチュラル雑貨販売の「ブォーナ・ビィータ」は直営を2店舗出店、FCを1店舗退店し、29店舗となっております。生鮮スーパーとのコラボである「バリュウー100」は、店舗数の増減はなく1店舗のままとなりました。加えて、雑貨販売事業における新たな挑戦として、キッチン用品、ランチグッズ、インテリア小物、靴下、アクセサリ等のおしゃれでカラフルな商品を100円、300円、500円の3つのプライスで取り揃えたスリープライスショップ「threege（スリージ）」を、平成26年11月、東京都板橋区成増に1店舗出店いたしました。

海外事業につきましては、東南アジアにおける均一ショップ「こものや」は、タイでは1店舗出店して16店舗、マレーシアでは1店舗出店して4店舗となっております。中国での均一ショップ「小物家園」は、不採算店舗1店舗を退店し直営店舗数を1店舗としましたが、日系百貨店を中心とした催事販売を開始し、現在のところ好調に推移しております。また、平成26年8月に現地法人Watts Peru S.A.C.を設立したペルーでは、1号店の出店に向けて着々と準備を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,931百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は383百万円（同11.2%減）、経常利益は401百万円（同9.2%減）、四半期純利益は307百万円（同17.7%増）となりました。

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,264百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が426百万円増加したことによるものであります。なお、現金及び預金につきましては、前連結会計年度末日、当第1四半期連結累計期間末日がともに金融機関の休日であり支払日が翌月に延びたことから、通常より高い水準で推移しております。

固定資産は4,317百万円となり、前連結会計年度末に比べて202百万円増加いたしました。これは主に、出店に伴って建物及び構築物が45百万円、工具、器具及び備品が21百万円、差入保証金が53百万円、それぞれ増加したことによるものであります。また、投資有価証券が24百万円、繰延税金資産が39百万円増加しております。

この結果、総資産は、19,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ604百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は9,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ279百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が448百万円増加した一方、未払法人税等が124百万円、賞与引当金が118百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。なお、支払手形及び買掛金につきましても、前述の現金及び預金と同様の要因から通常より高い水準で推移しております。

固定負債は1,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が206百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、11,045百万円となり、前連結会計年度末に比べ487百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,536百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が77百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.6%（前連結会計年度末は44.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,714,266	6,665,034
受取手形及び売掛金	2,318,842	2,336,815
商品及び製品	5,225,992	5,652,425
原材料及び貯蔵品	8,591	7,796
繰延税金資産	238,186	300,841
未収消費税等	6,922	333
その他	374,647	325,989
貸倒引当金	△24,686	△24,895
流動資産合計	14,862,762	15,264,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	944,176	1,001,311
減価償却累計額及び減損損失累計額	△596,556	△607,950
建物及び構築物（純額）	347,620	393,360
車両運搬具	8,690	8,690
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,518	△7,653
車両運搬具（純額）	1,172	1,037
工具、器具及び備品	2,579,972	2,644,883
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,066,379	△2,109,518
工具、器具及び備品（純額）	513,593	535,365
土地	257,800	257,800
有形固定資産合計	1,120,186	1,187,563
無形固定資産		
その他	33,254	38,891
無形固定資産合計	33,254	38,891
投資その他の資産		
投資有価証券	245,643	269,818
繰延税金資産	98,281	138,122
差入保証金	2,536,515	2,590,213
その他	110,691	122,625
貸倒引当金	△29,497	△29,451
投資その他の資産合計	2,961,634	3,091,329
固定資産合計	4,115,075	4,317,784
資産合計	18,977,838	19,582,123

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,170,185	7,618,857
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	679,491	743,211
未払法人税等	294,209	170,116
未払消費税等	154,680	112,061
賞与引当金	139,659	20,854
その他	1,106,975	1,159,646
流動負債合計	9,645,201	9,924,747
固定負債		
長期借入金	403,783	610,198
退職給付に係る負債	140,719	144,361
役員退職慰労引当金	102,751	97,200
資産除去債務	75,691	75,830
その他	189,445	193,135
固定負債合計	912,391	1,120,725
負債合計	10,557,592	11,045,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,583,816	1,583,816
利益剰余金	6,434,626	6,511,883
自己株式	△84,123	△84,123
株主資本合計	8,374,618	8,451,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,196	14,597
為替換算調整勘定	33,430	70,179
その他の包括利益累計額合計	45,627	84,776
純資産合計	8,420,245	8,536,650
負債純資産合計	18,977,838	19,582,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上高	10,724,248	10,931,278
売上原価	6,665,930	6,782,807
売上総利益	4,058,317	4,148,470
販売費及び一般管理費	3,626,319	3,764,986
営業利益	431,998	383,484
営業外収益		
受取賃貸料	6,284	5,664
持分法による投資利益	3,615	8,368
為替差益	4,747	4,898
貸倒引当金戻入額	531	172
その他	2,724	2,877
営業外収益合計	17,904	21,982
営業外費用		
支払利息	2,097	1,504
退店違約金	2,250	—
賃貸収入原価	2,718	2,703
その他	965	167
営業外費用合計	8,031	4,375
経常利益	441,871	401,091
特別利益		
固定資産売却益	1,478	—
保険解約返戻金	5,836	—
受取補償金	—	336
特別利益合計	7,314	336
特別損失		
固定資産除却損	1,243	1,596
減損損失	460	2,940
特別損失合計	1,703	4,536
税金等調整前四半期純利益	447,483	396,890
法人税、住民税及び事業税	245,365	194,746
法人税等調整額	△59,174	△105,428
法人税等合計	186,190	89,318
少数株主損益調整前四半期純利益	261,292	307,572
四半期純利益	261,292	307,572

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	261,292	307,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,599	2,400
為替換算調整勘定	2,662	24,407
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,015	12,341
その他の包括利益合計	2,247	39,148
四半期包括利益	263,539	346,721
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,539	346,721

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。